

5つのめざす社会



新しいことに挑戦できる社会

めざす姿④

みんなが学び続ける社会 子どもの個性を伸ばす教育が行われ 大人になってからも学び続けられる社会

めざす姿⑤

わきあがる挑戦 アイデアを形にする実践が無数に行われ 新しいチャレンジが次々と生まれる社会

めざす姿⑥

わきたつ文化 文化が暮らしの中心にあり 伝統と革新が織りなす多彩な表現活動が展開される社会



新しいことに挑戦できる社会

みんなが学び続ける社会

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われていると思うか」については、10代・20代が5.85と、子どもの年代に近いほど実感がなく、評価が低い。
- 「目的を持って学んでいるものがあるか」については、10代・20代は6.32だが、その他の年代の平均が5.39とやや低い。「学びたいときに学び直すことのできる社会か」については、いずれの年代も4～5点台と低い傾向にある。

設問14

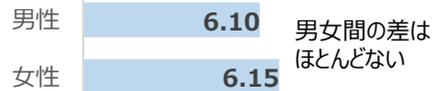
お住まいの地域では、子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われていると思いますか

全体平均



6.15

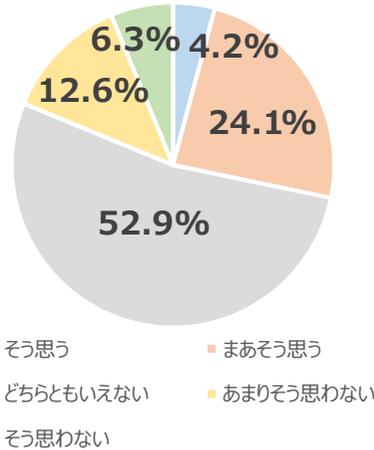
性別



年齢別



回答割合



地域別

地域による差は最大0.51と小さい。都市部や地方部といった違いは見られない



設問15

あなたには、目的を持って学んでいるものがありますか

全体平均

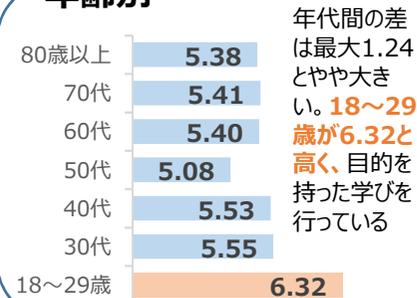


5.43

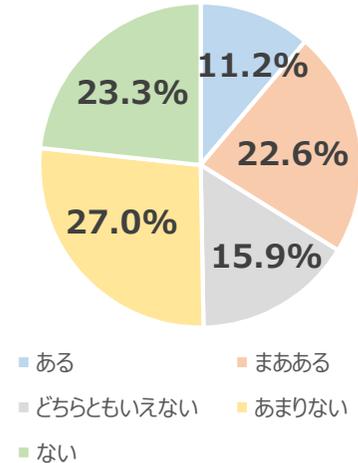
性別



年齢別



回答割合



地域別

地域による差は最大0.46とほとんどない。都市部や地方部といった違いは見られない





新しいことに挑戦できる社会

みんなが学び続ける社会

■兵庫のゆたかさ指標

設問16

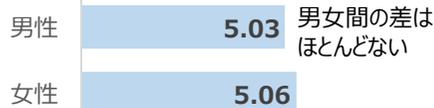
新たな知識や技能を身につけたり、専門性をみがぐために、だれもが学びたいときに学び直すことのできる社会になっていると思いますか

全体平均

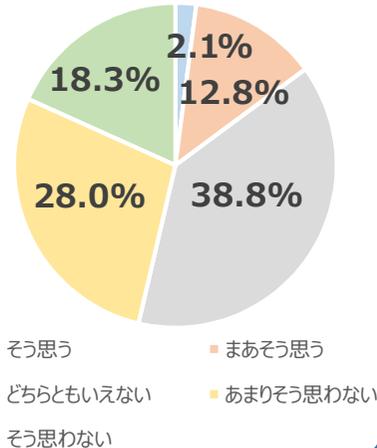


5.05

性別



回答割合



年齢別



地域別

地域による差は最大0.47とほとんどない。ばらつきはあるが、傾向としては**都市部が高い**



■主な県の取組

- 国内外で活躍する「未来を創造する力を備えた人材」を育成するため、文理を横断した複眼的視野により創造力や課題解決能力を高める「STEAM教育」を指定校4校で実施（篠山鳳鳴高校、明石高校、姫路飾西高校、豊岡高校）
- 中小企業を支えるDX人材の育成のため、関西学院大学が提供する「AI活用人材育成プログラム」の受講支援や、県立大学と連携した新たなプログラムの作成を行う「中小企業DX人材育成リカレント教育事業」を展開（R5:受講者数170人）
- 「ひょうごSDGsスクールアワード」を創設し、子ども主体でSDGsの推進に取り組む学校園を募集・顕彰（R5:表彰数12校園）
- 中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での様々な体験活動を行う「トライやる・ウィーク」を全県下で実施(R5:354校41,819人参加)
- 高齢者の生涯学習の場として、また地域貢献活動へ参画するきっかけとして、高齢者大学を運営（R5受講者数2,219名）



STEAM教育（兵庫高校）



トライやる・ウィーク



新しいことに挑戦できる社会

わきあがる挑戦

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「若者が希望を持てる社会か」については、「将来の生活に不安を感じるか」と同様、先行きの不透明感の影響もあり4.69と低い。また、30代以下の若者世代の評価がもっとも低くなっている。
- 「商売、事業を新たに始めやすい社会か」については平均4.90と低く、起業・創業に対する壁を感じていることがうかがえる。また、差は大きくないものの、神戸、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨の平均が4.94で、北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の平均が4.62と、地方部が低くなっている。

設問17

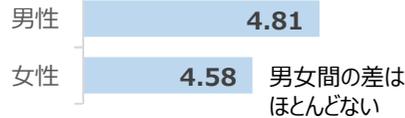
若者が希望を持てる社会だと思いますか

全体平均

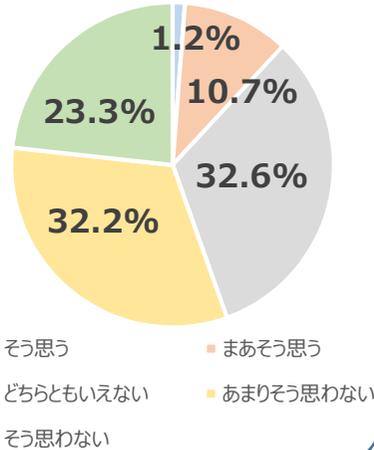


4.69

性別



回答割合

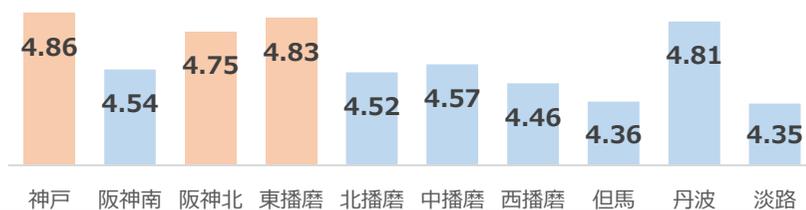


年齢別



地域別

地域による差は最大0.51と小さい。ばらつきはあるが、傾向としては都市部が高い



設問18

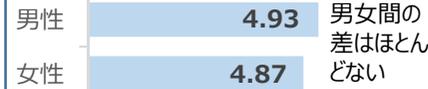
商売、事業を新たに始めやすい社会だと思いますか

全体平均

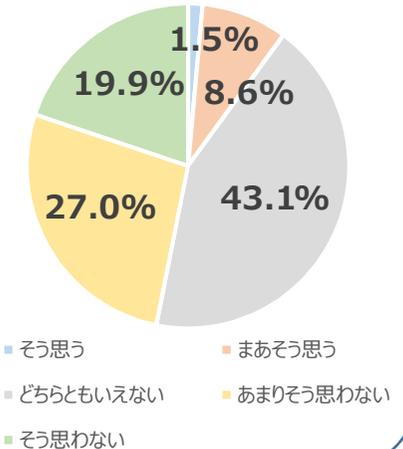


4.90

性別



回答割合

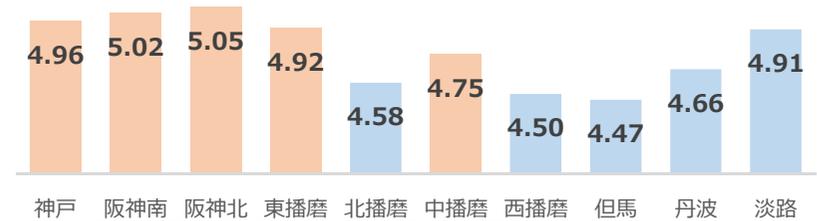


年齢別



地域別

地域による差は最大0.58と小さい。ばらつきはあるが、傾向としては都市部が高い





新しいことに挑戦できる社会

わきあがる挑戦

■兵庫のゆたかさ指標

設問19

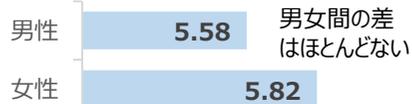
あなたは、ボランティアなどで社会のために活動していますか、またはしてみたいですか

全体平均

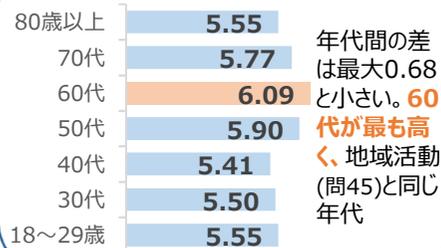


5.73

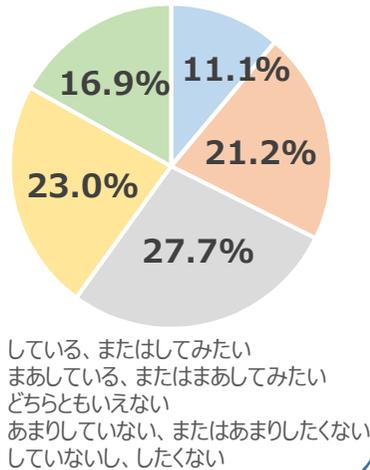
性別



年齢別

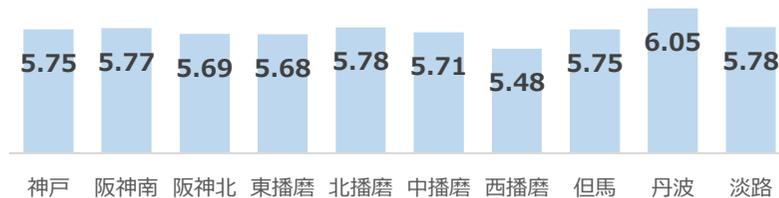


回答割合



地域別

地域による差は小さく、都市部と地方部といった違いは見られない



■主な県の取組

- 県内各地の中高生を対象に、自ら課題を発見し、解決策を考える実践型起業教育プログラム「ひょうごスタートアップアカデミー」を実施（R5:中高3校にモデル導入）
- 起業に再挑戦できる機運を醸成するため、再チャレンジ起業家を支援するアクセラレーションプログラムを実施（R5:採択者数10者）
- 県内コワーキングスペースのネットワーク化を推進し、コワーキング運営事業者の交流促進によるコミュニティ構築や、協業機会を創出（R5起業プラザ3拠点を中心に県内2地域でコワーキングスペース運営者とミーティングを実施）
- 商店街活動へ積極的に参加する若者や女性の空き店舗への新規出店を支援（R5:13件「R6.3.25時点」）



ひょうごスタートアップアカデミー
公開授業の知事視察
(啓明学院中学校)



県内コワーキングスペース

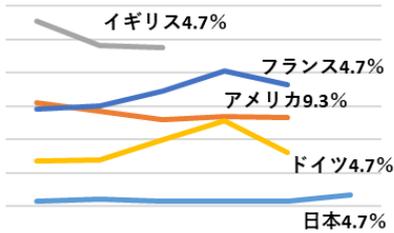
トピックス 地域課題を解決するスタートアップの支援

問 18 商売、事業を新たに始めやすい社会だと思いますか



商売、事業を新たに始めやすい社会だと思う、まあそう思うと回答した人は全体の10.1%にとどまっています。

【開業率の国際比較】

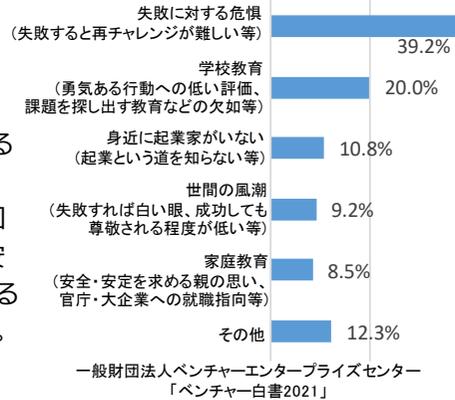


2016 2017 2018 2019 2020 2021
令和5年度版労働経済の分析（厚生労働省）

◆起業の状況

起業は、経済の新陳代謝を活発化し、多様なビジネスを生み出す原動力です。社会や地域の課題に新しい発想で取り組み、ビジネス的手法でその解決にあたる起業家にも注目が集まっています。こうした中、日本の開業率は、欧米諸国に比べて一貫して低い水準で推移しています。

【日本で起業が少ない原因】



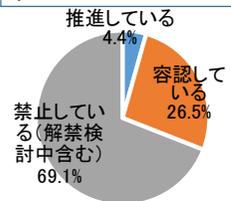
◆起業の少ない原因

日本で起業が少ない原因として「失敗に対する危惧」が最も高くなっています。

「学校教育」「身近に起業家がない」等の回答のほか、「失敗すれば白い目で見られる」、「安全・安定を求める親の思い」など、失敗に対するリスクへの意識がうかがえる回答も見られます。

2019年9月調査

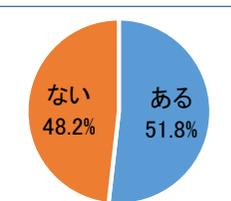
就業規則で社員への兼業・副業を認めているか



兼業・副業に対する企業の意識調査（㈱リクルートキャリア）

2023年1月調査

従業員の兼業・副業を認める人事制度の有無



兼業・副業に関する動向踏査（㈱リクルート）

◆副業・兼業

近年、収入源の多様化、新たなスキルの獲得、スキルのアップデート等を動機に、副業・兼業を希望する人が増えています。コロナ禍でのテレワークの普及で副業・兼業をしやすい環境が整ったことで、従業員の兼業・副業を認める企業も増えてきています。

課題に挑戦する若い起業家の育成

○ 起業家支援事業(若者枠)の創設(R6年度～)

若者に選ばれる働きやすい兵庫を目指すため、起業家支援事業に若者枠を新設し、県内で新たなビジネス創出の取組と成長を支援（実施内容）

県内で起業・第二創業を目指す30歳以下の若者等のうち、審査委員会において有望なビジネスプランであると選定された者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費の一部を補助

区分	一般枠	ふるさと枠	社会的事業枠	東京23区	就職氷河期世代枠	(新)若者枠
対象者	有望なビジネスプランを有し、県内で起業する者					
	—	県外から県内に移住・起業する者	—	東京23区等から県内に移住・起業する者	就職氷河期世代	概ね30歳以下の若者(学生・留学生含)
対象経費	起業に要する経費	1,000千円以内				
	空き家改修費用	1,000千円以内				
	移転経費	—	1,000千円以内	—	—	—

○ 若者起業人材育成事業

起業家精神を醸成するため、県内中学・高校・大学において、起業家精神養成プログラムや起業人材育成講座等を実施し、将来の起業人材を育成

区分	実施内容
中学・高校生向け	○ 県内中高への起業家精神養成プログラム導入 起業家精神養成プログラムを実施し、起業を考える若者を育成 ・導入校数：中学・高校10校程度
	○ 日本政策金融公庫と連携したワークショップ 公庫と連携した実地的なプログラムを実施し、学校の授業以外での起業家教育を推進 ・開催回数：1回（高校生の夏休み期間中） ・参加者数：50人程度
	○ スタートアップチャレンジ甲子園の開催 大阪府と共催で両府県の代表が新ビジネスのアイデア等を競い合う場を開催（R6.11月予定）
大学生向け	○ 県内大学と連携した起業人材育成事業 県内大学と連携し、起業家育成講座の実施を支援 ・実施大学：県内大学2校程度 ・補助額：4,000千円/大学（うち2,000千円はふるさと兵庫寄付金を活用）



新しいことに挑戦できる社会

わきたつ文化

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「暮らしの中でスポーツ・スポーツ観戦を楽しむ」については、北播磨が6.13と最も高く、隣接する阪神北、阪神南がそれに続き、「暮らしのなかで芸術文化を楽しむ」についても、最も高い阪神南が5.64、それに続く阪神北、神戸と、スポーツ施設、文化施設等へのアクセスのしやすい地域が高くなっている。年代別ではいずれも30代が低い。
- 「伝統芸能・文化が受け継がれている地域か」については、神戸、阪神南が5点台と、相対的に都市部で低い傾向がうかがえる。年代別には目立った違いは見られない。

設問20

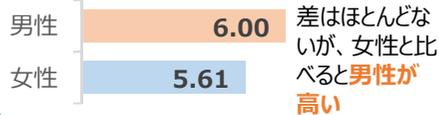
あなたは、暮らしの中でスポーツをしたりスポーツ観戦を楽しんだりしていますか

全体平均

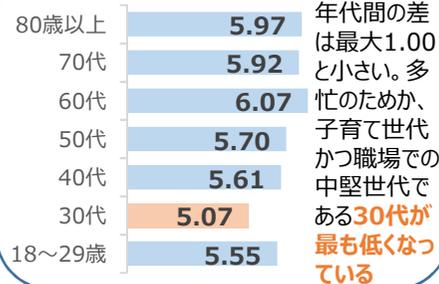
5.79



性別

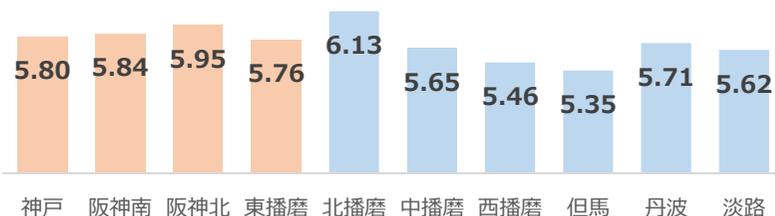


年齢別



地域別

地域による差は小さいが、**都市部が高い傾向**にある



設問21

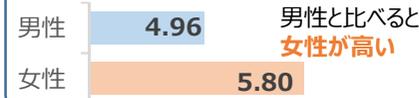
あなたは、暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていますか

全体平均

5.47



性別

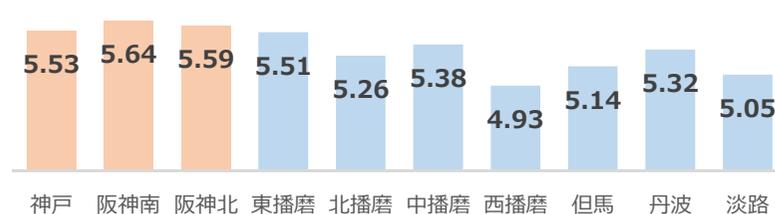


年齢別

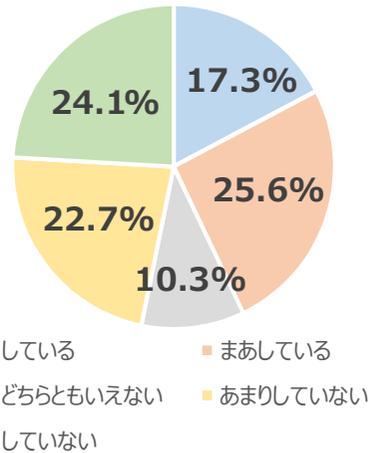


地域別

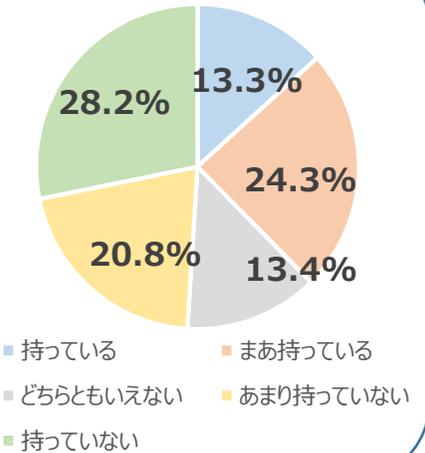
劇場・ホール等へのアクセスのしやすい**神戸、阪神地域が最も高くなっている**



回答割合



回答割合





新しいことに挑戦できる社会

わきたつ文化

■兵庫のゆたかさ指標

設問22

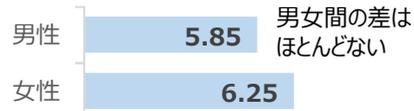
お住まいの地域では、伝統芸能・文化などが受け継がれていると思いますか

全体平均

6.10



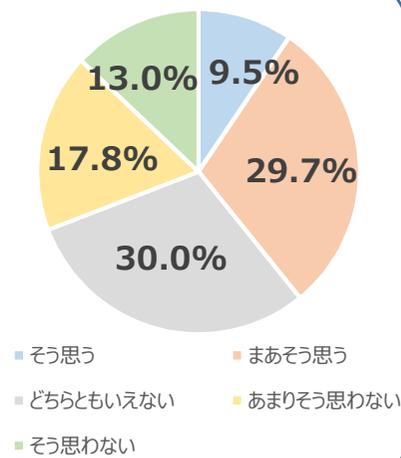
性別



年齢別

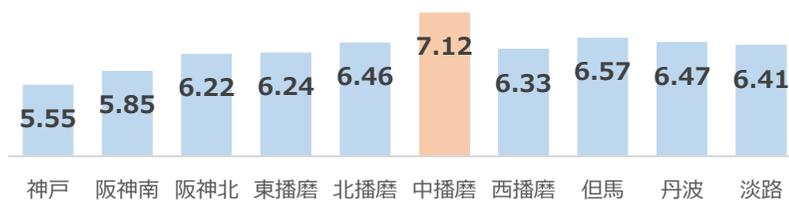


回答割合



地域別

地域による差は最大1.57と大きい。傾向としては地方部が高いが、**最も高い**のは「灘のけんか祭り」等の伝統のある**中播磨地域**となっている



■主な県の取組

- 県立芸術文化施設の無料開放や特別イベントを展開する「ひょうごプレミアム芸術デー」を創設（県立・市町立・民間施設を含む89施設でR5.7開催）
- コロナ禍の影響により減少した青少年の舞台芸術鑑賞機会を提供するとともに、県内アーティストの活動の機会を提供（R5:32公演において2,500席を無料開放）
- 芸術文化活動団体の舞台公演や展示会の開催を支援し、芸術文化活動の活性化と県民の鑑賞機会を確保（R5:111件支援）
- 障害者の芸術文化活動の振興のため、障害者芸術作品を常設展示する「兵庫県障害者アートギャラリー」を運営（原田の森ギャラリー内）（R4:4団体開催）
- パラスポーツの普及拡大のため、学校や企業などへの出前講座（R4:16回開催）や、車いすテニスなどの各種体験会「パラスポーツ王国HYOGO & KOBE“夢プロジェクト2022”」を開催（R4.11.3、延べ3,510人参加）
- eスポーツに取り組む高校生の新たな活動目標や裾野拡大を目的に、「HYOGO高校生eスポーツ大会」を開催（R6.1.20～2.12 14チーム86名参加）



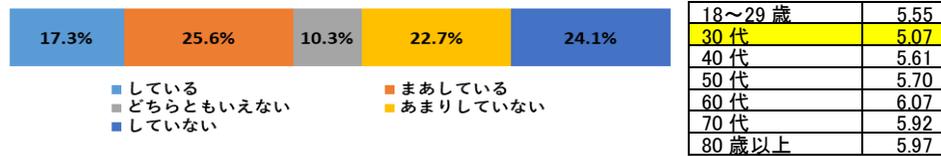
HYOGO高校生eスポーツ大会



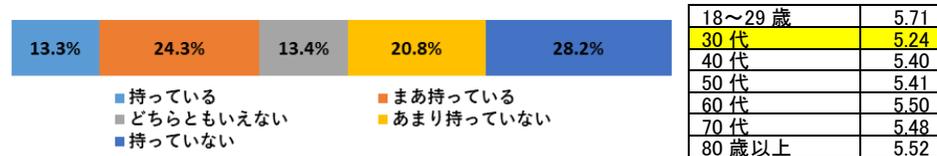
ひょうごプレミアム芸術デー

トピックス スポーツ・芸術文化

問20 あなたは、暮らしの中でスポーツをしたりスポーツ観戦を楽しんだりしていますか



問21 あなたは、暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていますか

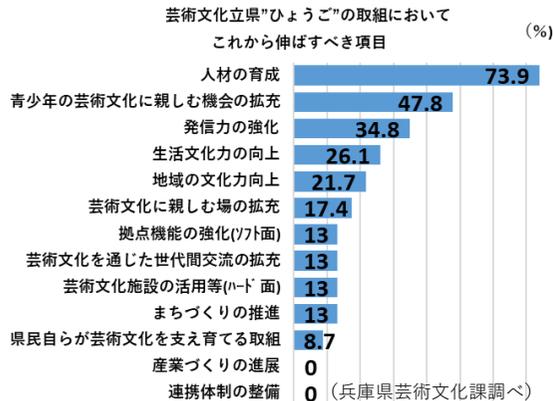
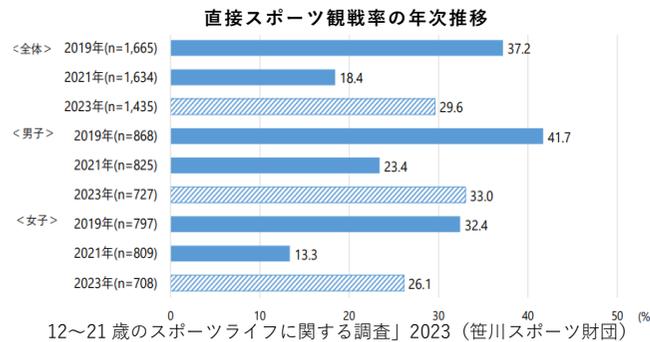


暮らしの中でスポーツ・スポーツ観戦を楽しむ、芸術文化を楽しむについて、どちらも「していない」「あまりしていない」の回答が「している」「まあしている」の回答を上回っています。

年代別で見ると、年代間の差は小さいものの、子育て世代かつ職場での中堅世代である30代が最も低くなっています。

◆ライフスタイルの変化

12~21歳のスポーツ観戦率は、コロナ禍の2021年からは回復傾向にあります。長期的にみた場合、ライフスタイルの変化や、他の娯楽活動、SNSの利用増加等の影響により低下傾向にあります。



◆本物の芸術文化に親しむ

核家族化が進み、地域の繋がりが希薄になる中、学校以外の場所において、世代を越えて伝統文化や文化的行事に親しむ機会は減少しています。

青少年に対し、地域の伝統文化や伝統芸能の魅力に触れてもらうとともに、世代間交流を図り、次代の担い手として育成を進めることが重要です。

スポーツ・芸術文化の振興

○ プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト

プロスポーツ等との連携強化施策として、子どものプロスポーツ試合観戦招待や、選手・スタッフによるスポーツ教室の開催、スポーツ関連イベントなどを実施



○ 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト

ふるさと納税活用によるスポーツ教室やイベント等の開催など、子どもたちがスポーツに触れる機会を提供

○ アートで躍動 Z世代文化部応援プロジェクト

将来を担うZ世代の芸術文化活動を支援するため、リアルとデジタルの両面で芸術文化作品等の発表の場を新たに創出

○ 障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト

障害者の芸術作品等の発表機会の確保、鑑賞機会の拡大、活動を支える人材育成の観点から、芸術文化活動を行う障害者や団体等への多面的な支援を実施



第18回兵庫県障害者芸術・文化祭受賞作品

5つのめざす社会



誰も取り残されない社会

めざす姿⑦

みんなが生きやすい地域 年齢、性別、障害の有無、国籍などに関わりなく 一人ひとりの個性が大切にされる社会

めざす姿⑧

安心して子育てできる社会 地域に見守られながら安心して子育てができ 多様な家族の形を受け入れる社会

めざす姿⑨

安心して長生きできる社会 充実した医療・福祉サービスを受けられ 何歳まで生きても安心な社会



誰も取り残されない社会

みんなが生きやすい地域

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「孤立しがちな人を生まないように気にかける社会か」についてはどの地域も4～5点台と低い。
- 「ハラスメントの予防・解決に向けた取組が社会全体として進んでいるか」については、平均5.15とやや低めである。地域差、年代差もあまり見られず、全体として進んでいる実感があまりない。
- 「年齢・性別・障害の有無などに関わりなく暮らしやすい環境が整っているか」については、神戸、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨の平均が6.23、北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の平均が5.59と、都市部と比較して、地方部が低くなっている。

設問23

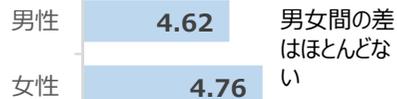
孤立しがちな人を生まないように気にかける社会であると感じますか

全体平均

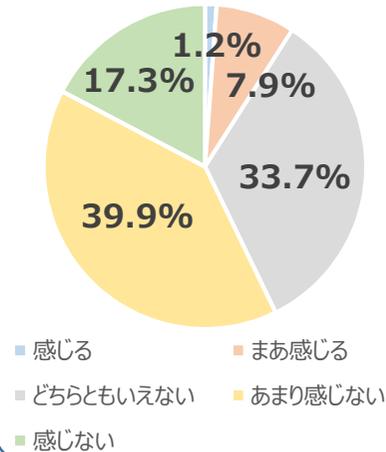
4.71



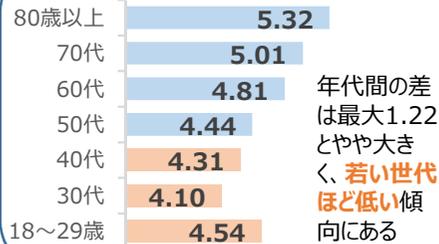
性別



回答割合



年齢別



地域別

地域による差はほとんどないが、都市部と比較すると地方部がやや高い



設問24

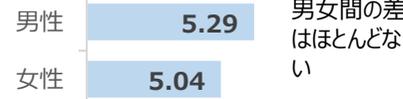
ハラスメントの予防・解決に向けた取組が社会全体として進んでいると思いますか

全体平均

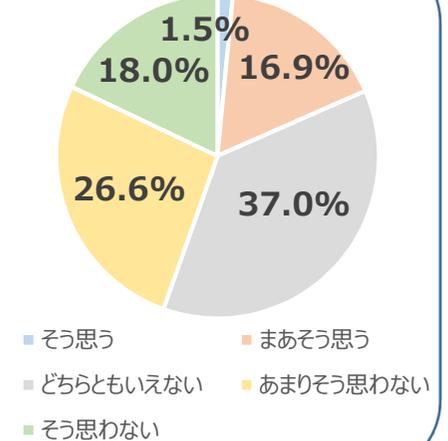
5.15



性別



回答割合

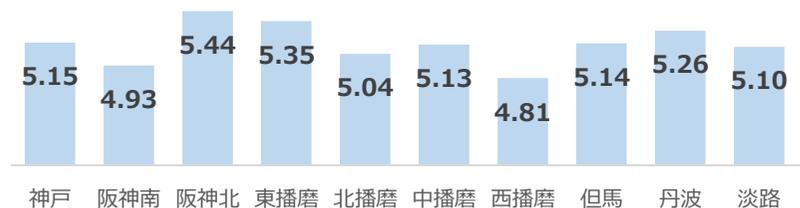


年齢別



地域別

地域による差は小さい





誰も取り残されない社会

みんなが生きやすい地域

■兵庫のゆたかさ指標

設問25

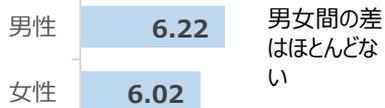
お住まいの地域には、年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると
思いますか

全体平均



6.12

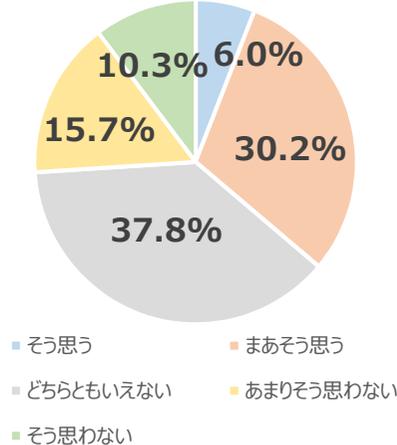
性別



年齢別



回答割合



地域別

地域による差は最大1.24とやや大きい。傾向としては**都市部が高い**



■主な県の取組

- 「兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口」の開設(R4.6)や配色支援事業の開始(R4.10)など、ヤングケアラーの早期発見・悩み相談・福祉サービスとの連携などの支援体制を整備(開設以降R6.2.29時点:延べ相談件数721件、開始以降R6.2.29時点:配食世帯数139世帯)
- 医療的ケア児やその家族等を支援するため、「兵庫県医療的ケア児支援センター」によるワンストップ相談や家族交流会等を実施(R4:延べ相談件数583件、家族交流会への参加6件)
- デジタルデバイド解消のため、障害者からのパソコンやスマホ等の相談に対応する窓口を開設するとともに、各地域でITスキル入門講座を開催(R4:ITスキル入門講座60回実施)
- インターネット上の誹謗中傷等等に関する専門相談やLGBT等性的マイノリティに関する相談・交流会を実施(R6.2.29時点:ネットによる人権侵害相談件数56件、LGBT相談件数50件、交流会2回実施)
- 年齢や障害の有無等に関わらず、様々な人が気兼ねなく旅行を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進のため、全国初となるユニバーサルツーリズム推進条例を制定(R5.4.1施行)。人材育成等による受入体制の強化や、モニターツアー等による情報発信、セミナー等による機運醸成を展



ヤングケアラー相談窓口



「ひょうごUT相談コンシェルジュ育成プログラム」講座



誰も取り残されない社会

安心して子育てできる社会

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「子育てとの両立がしやすい労働環境が整っているか」については、子育て世代を含めたすべての年代、すべての地域で4～5点台にとどまっており、育児サポート制度の充実、多様な働き方の導入などを一層推進していく必要がある。
- 一方、「地域で子どもを守り育てる環境があるか」「安心して楽しく子育てができる地域か」についてはすべての年代・地域で6点を超えており、子育て中の親子の居場所づくりや相談支援、登下校の見守りなど、地域で子どもを育てる環境づくりが浸透しつつあることがうかがえる。

設問26

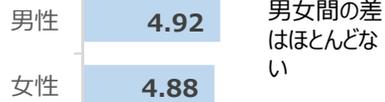
子育てとの両立がしやすい労働環境が整っている社会だと思いますか

全体平均

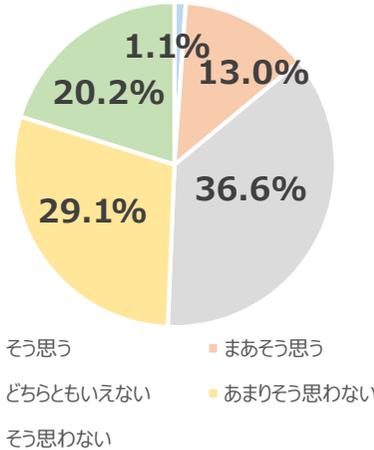


4.91

性別



回答割合

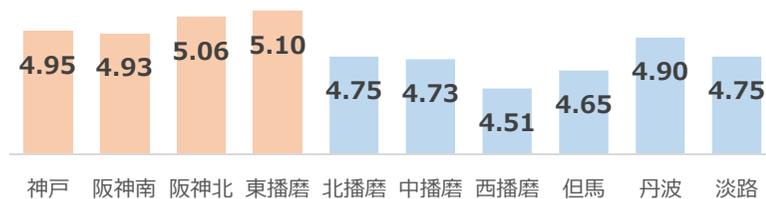


年齢別



地域別

地域による差は最大0.59と小さい。傾向としては都市部が高い



設問27

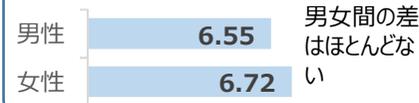
お住まいの地域には、地域で子どもを見守り育てる環境がありますか

全体平均

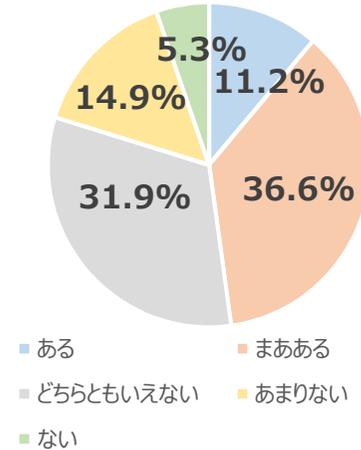


6.67

性別



回答割合



年齢別



地域別

東播磨、北播磨地域のみ7点台と高いが、地域による差は最大0.89と小さい





誰も取り残されない社会

安心して子育てできる社会

■兵庫のゆたかさ指標

設問28

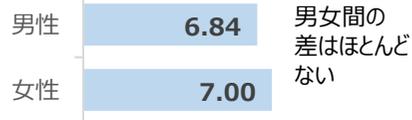
お住まいの地域では、安心して楽しく子育てできると思いますか

全体平均



6.95

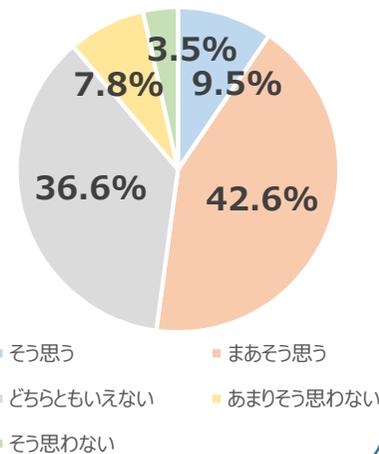
性別



年齢別



回答割合



地域別

地域による差は最大0.71と小さく、都市部と地方部といった違いは見られない



■主な県の取組

- 育児負担の大きい多胎育児家庭の支援のため、自転車やベビーカーなどの購入・レンタル費用の支援を実施（R4:支援数279件）
- 「課題を抱える妊産婦支援プロジェクト」を創設し、ふるさとひょうご寄附金(R4.9募集開始)等を活用した出産費用や資格取得、頼れる居場所づくり等への支援を展開
- 子育て支援を受ける機会が少ない在宅育児世帯を積極的に支援するため、LINEチャット及び電話による子育て相談、専門家によるWeb相談や訪問相談を実施（R5:相談件数625件（R6.2月末時点））
- いじめや不登校など複雑化する学校課題に対し、教育事務所長のリーダーシップのもと、効果的・機動的に市町教育委員会や市町立学校へ支援を行えるよう、学校支援専門員(教員OB・警察OB)、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等で構成する「学校問題サポートチーム」を設置（R6.1末時点:相談件数15,486件）
- 「ひょうご保育料軽減事業」により、保育所・認定こども園等に通う0～2歳児の子どもへの保育料を支援（R4:7,119人へ補助）
- 行政・福祉関係機関・民間企業・地域団体が連携した「フードサポートネット」における意見交換・情報発信や、配食を行うこども食堂やフードバンク等への支援（R5:9件補助）など、生活困窮者等に対するフードサポート体制を充実強化

問 28 お住まいの地域では、安心して楽しく子育てできると思いますか

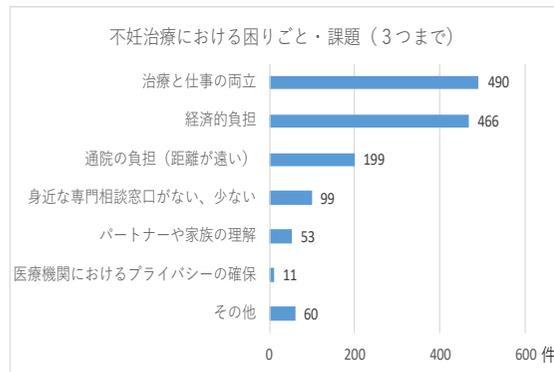


「そう思う」「まあそう思う」人の割合は52.1%と半数を越えています。

【年代別平均値】

18～29 歳	6.81
30 代	6.88
40 代	6.92
50 代	6.84
60 代	6.86
70 代	7.03
80 歳以上	7.20

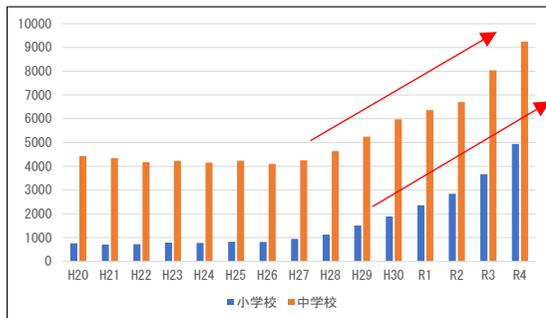
◆不妊治療における課題



不妊治療実態調査(R5.7～8) (兵庫県)

県で実施した不妊治療実態調査では、不妊治療の困りごととして、治療と仕事の両立、経済的負担などの課題が明らかになりました。また医療機関が神戸・阪神地域に集中していることから、通院の負担（距離が遠い）を訴える声も多くありました。切実な利用者の意見に対応する事業に取り組む必要があります。

◆不登校児童生徒の状況



県内公立小中学校不登校児童生徒数の推移 (兵庫県)

不登校児童数は、年々増加傾向にあります。不登校の理由は様々ですが、コロナ禍の長期化で生活環境が変化したことや、学校生活でのさまざまな制限で交友関係が築きにくくなったことなどが増加に拍車をかけている要因であると考えられています。不登校児に寄り添いサポートする対策を進めていくことが重要です。

不妊治療支援の強化

不妊治療支援の方向性を議論する不妊治療支援検討会（令和5年6月設置）からの提言を受け、安心して不妊治療が受けられる体制整備に向けて取組を強化

○ 保険適用外の先進医療費助成

- ・対象 県内医療機関で先進医療を受けた者（43歳未満）
- ・助成額 胚移植1回あたり3万円（回数制限なし）
※一部地域は、県外医療機関を含む

○ 先進医療にかかる通院交通費助成

- ・対象 本人（同行者は対象外）
- ・助成額 胚移植1回の治療にかかった通院交通費の合計額から5,000円を控除した額の1/2以内

○ プレコンセプションケア推進

高校生、大学生を対象に妊娠・出産を含む健康についての出前講座などを実施



○ 普及啓発

SNSやチラシ、ポスターによる情報発信

不登校児童生徒への対策

○ ひょうご不登校対策プロジェクト

令和6年度から、校内サポートルーム（校内教育支援センター）における不登校児童生徒への学習、生活の支援等、個に応じた支援として、不登校児童生徒支援員（外部人材）の配置を支援

- ・配置数：中学校：各校に1人、小学校：市町ごとに4校に1人
- ・実施手法：市町への補助（1/2）

【県内市町組合のサポートルームの設置状況(R5.10月調査)】

サポートルームの設置			指導員等の配置 (市町負担)
全校	一部学校	合計	
小18市町組合 中35市町組合	小21市町組合 中7市町組合	小39市町組合 中42市町組合	26市町組合 [61.9%]
小171校 中152校	小216校 中87校	小387校(68.3%) 中239校(94.8%)	小94校(16.6%) 中113校(44.8%)



誰も取り残されない社会

安心して長生きできる社会

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「心身ともに健康か」「安心できる医療の環境が整っているか」「高齢になっても安心して暮らし続けられる地域か」については、いずれも神戸、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨の平均が、北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の平均を上回っており、医療機関や福祉サービス事業所が数多く立地する都市部の点数が高くなっている。

設問29

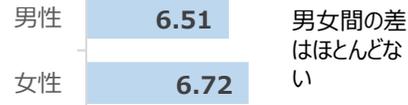
あなたは、心身ともに健康であると感じますか

全体平均

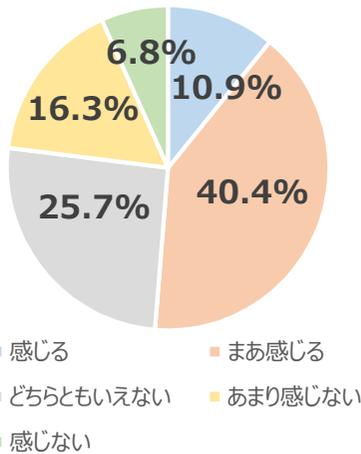


6.65

性別



回答割合

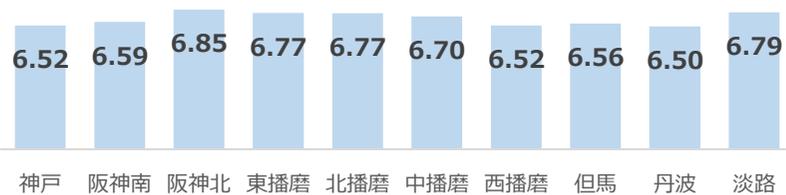


年齢別



地域別

地域による差は最大0.35とほとんどなく、都市部と地方部といった違いはみられない



設問30

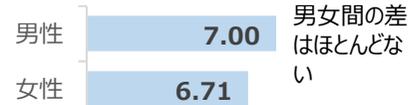
お住まいの地域には、安心してできる医療の環境が整っていると思いますか

全体平均

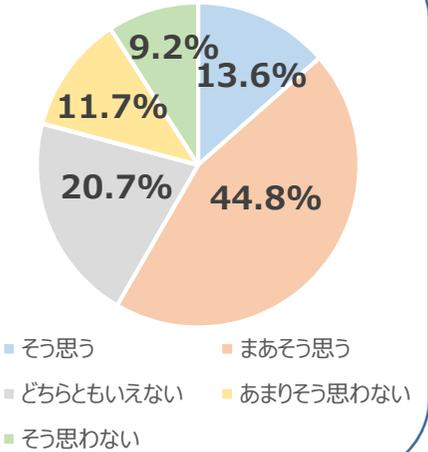


6.84

性別



回答割合

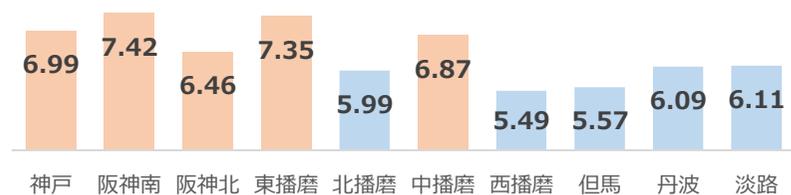


年齢別



地域別

地域による差は最大1.93と大きい。傾向としては、より多くの医療機関にアクセスしやすい都市部が高い





誰も取り残されない社会

安心して長生きできる社会

■兵庫のゆたかさ指標

設問31

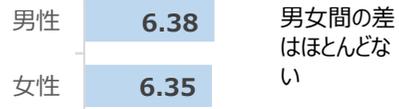
お住まいの地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思いますか

全体平均

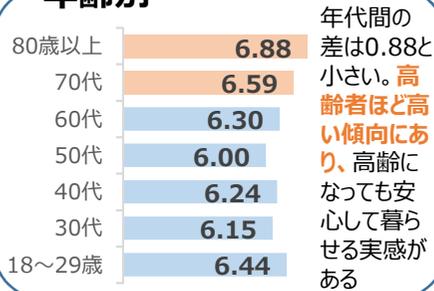


6.39

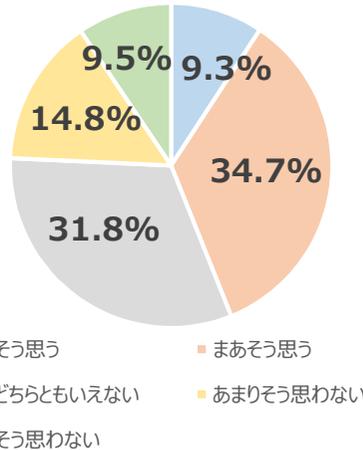
性別



年齢別

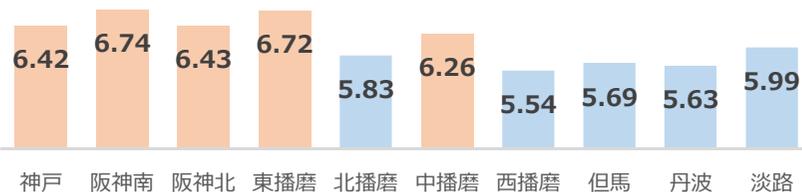


回答割合



地域別

地域による差は最大1.20とやや大きい。傾向としては、公共交通機関等の利便性の高い都市部が高い



■主な県の取組

- ワクチン接種、検査・医療体制の整備、自宅療養者に対するフォローアップ体制の強化など、県民の生命と健康を守るコロナ対策を総合的に展開
- 市町における認知症予防教室の開催支援を実施（R5:5市町へ補助）
- 「歯及び口腔の健康づくり推進条例」をR4.4施行し、①オーラルケア予防対策や②要介護者の口腔ケアの定着による誤嚥性肺炎予防を推進(R5時点:①36市町、②16市町で実施)
- 要介護者の自宅での生活を支援するため、退院直後の在宅生活への移行や看取り期の支援、医療行為等の多様なサービスを24時間365日提供する看護小規模多機能型居宅介護サービス事業所の整備などを促進（R6.3時点57事業所）



知事のワクチン接種会場視察

問 31 お住まいの地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思いませんか



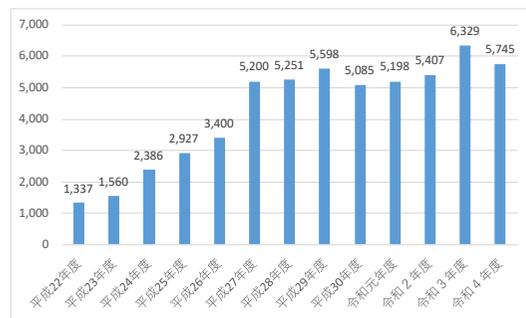
高齢になっても安心して暮らし続けられる地域と「思う」「まあそう思う」と回答した人は全体の 44.0%と高く、「思わない」「あまりそう思わない」の 24.3%を大きく上回っています。

◆増え続ける特殊詐欺被害

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加しています。令和 4 年中は特殊詐欺認知件数、被害額ともに前年より増加し、認知件数は過去 10 年間で最多となっています。被害者の約 8 割を占める高齢者の安全安心な暮らしを守るため、総合的な特殊詐欺対策が必要です。



◆インターネットに関する相談の増加



インターネット上のプライバシー侵害や、SNSによるいじめなど、違法・有害情報相談センターで受け付けている令和 4 年度の相談件数は、令和 3 年度の件数よりも減少したものの依然高止まりしています。

違法・有害情報相談センターにおける相談件数の推移(総務省)

特殊詐欺対策

年々増加する特殊詐欺被害の状況を踏まえ、緊急対策を実施

- 自動録音機能付電話機等普及促進事業の拡充
特殊詐欺被害防止に効果がある自動録音機能付電話機等の機器購入費に対する補助事業(市町を通じた補助)を拡充

区分	内容	兵庫県特殊詐欺集中対策本部会議
補助対象	65歳以上の高齢者	全額県負担で 実質無償化
補助率	定額	
補助上限	自動録音機能付電話機購入：10,000円 外付録音機購入：5,000円	

○ 特殊詐欺対策の普及啓発

- ・多様化する特殊詐欺の手口や対策について幅広い周知を図るため、県内各地できめ細かく被害対策講習会を開催
- ・金融機関等高齢者がよく訪れる場所での普及啓発など、広く被害防止対策キャンペーンを実施

SNS 誹謗中傷等対策

SNS における誹謗中傷や差別的な書き込み等を抑止するための条例制定を検討するとともに、被害者相談やモニタリング等を実施

○ ネット上の人権侵害抑止に係る条例検討

インターネット上の誹謗中傷や差別等を抑止するため、条例の制定に向けて検討

○ ネット・モニタリング事業

SNS 上の誹ネット上の差別的な書き込み等への対応を強化するため、検索対象項目を追加し、モニタリングを実施するとともに、市町職員等へ研修会議を実施、市町職員等へのモニタリング研修や情報共有する会議を実施

○ ネット上の誹謗中傷等に関する専門相談等

弁護士による専門相談(電話及び面談)の実施。また、書き込み削除や発信者情報開示等の法的手続きを支援するため、弁護士を中心としたサポートチームを設置